

令和7年度 沖縄県高等学校新人体育大会

第34回沖縄県高等学校新人ヨット競技大会実施要項

- 主催** 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会
- 後援** 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・与那原町・与那原町教育委員会
NHK沖縄放送局・琉球新報社・沖縄タイムス社・株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社
琉球放送株式会社・琉球朝日放送株式会社
- 主管** 沖縄県高等学校体育連盟ヨット競技専門部・沖縄県セーリング連盟

- 1. 期 日** (1) 開 始 式 令和7年10月25日(土)
(2) 競 技 令和7年10月25日(土)～10月26日(日)
(予備日:令和7年11月3日 月曜日)
- 2. 会 場** (1) 開 始 式 与那原マリーナ
(2) 競 技 与那原マリーナ
- 3. 競技規定** 2025～2029年国際セーリング連盟競技規則・公益財団法人日本セーリング連盟規定帆走指示書当該クラス規則及び実施要項により行う。

4. 競技方法

- (1) 競技種目は、男女(FJ級・420級・シングルハンダー)とし、種目ごとに男女共通で順位を決定する。
(2) レース回数は7回戦とし、1回戦以上のレースをもって大会は成立する。

5. 参加資格

- (1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の1・2年に在学する生徒であること。
(2) 令和7年度日本セーリング連盟に登録済みの者であること。
(3) 当該種目の全国高等学校総合体育大会要項に定める資格の該当者であること。
(4) 平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)
(5) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(6) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
ア. 部員不足に伴う合同チーム
(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
詳細は、全国高体連が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と全国専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
イ. 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る)
(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け在学する学校長の承認を必要とする。
(8) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等やむを得ない事情の場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りではない。
(9) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒としての品位を欠いた場合等には出場を取り消すことができる。
(10) 同一選手が2競技にまたがって出場することは原則として認めない。
(11) 学校感染症に罹患している生徒の大会への出場は認めない。
(12) 参加資格の特例
上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ、大会参加資格の別途に定める規定に該当する生徒の大会参加を認める。

6. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める該当校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

7. 参加制限

- (1) 学校単位でのチーム編成を原則とし、男女の混成も認める。
- (2) 使用可能な艇数までの参加を認め、申し込みが多い場合は大会初日の監督会で調整する。
- (3) 学校感染症に疾患している生徒の大会への出場は認めない。

8. 参加申し込み

- (1) 申し込み方法
 - (ア) 参加者は、選手団を編成し所定の用紙に必要事項を記入のうえ申し込むこと。
 - (イ) 申し込み用紙をダウンロードし、必要事項を記入、公印押印後に PDF 化し、期日までに下記のメールアドレスに送信すること。
- (2) 申し込み先アドレス aharenmo@open.ed.jp ヨット競技専門委員長 阿波連本周
- (3) 申し込み締切 令和7年10月1日（水）12：00必着（締切り時間後は受け付けない）

9. 表彰 優勝チームには賞状・メダルを、2～3位チームには賞状を授与する。

10. 連絡事項

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱います。
- (2) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わない。
- (3) 出艇から着艇まで必ずライフジャケットを着用すること。
- (4) 各種目男女1～3入賞者は令和7年度第35回全九州高等学校選抜ヨット選手権大会へ派遣する。なお同一校の参加制限内においては推薦をする。